



東日本大震災、福島第一原発事故 ふるさと福島を詠む

福島の被災は、原発被害の無かった宮城、岩手とは全く違います。その両県では、直後から復興が始まり、今ではかなりの進展を見ていますが、福島では、ほとんど進んでいないというのが現状です。福島の本を出さなくてはならない、というのが、昨年岩手の俳人照井翠さんの俳句をもとに「鎮魂俳句」を出した時からずっと思っていたことでした。そして出会ったのが、福島県退職女性教職員あけぼの会の編纂した「伝えたい 福島の3.11」でした。

あけぼの会とは、福島のエスペ란チスト太田茂子さんのおかげで出会いま

した。毎年3月に行われる「ヒマラヤの集い」に、あけぼの会の会員外山洋子さんを誘ってくれたのです。彼女から「伝えたい 福島の3.11」を紹介され、20冊注文して、知人に売りました。そんなことから、更に何人かの会員と知り合いました。この本の中では、会員の何人かが、被災した状況を俳句や短歌にして残しています。素人っぽい作品ですが、実感がこもっています。それで、それを使って、「鎮魂俳句」同様、私が撮りためてきた福島の被災地の写真と小さなエッセーを加えて、本に仕上げました。写真も結構きれいだと言っていますし、被災地に通い詰めなければ撮れない写真ばかりです。福島のこと、原発のことでもありますので、何としても1500部は普及したいと考えています。皆様のご協力をお願いします。

東日本大震災、福島第一原発事故 ふるさと福島を詠む

32 ページ、全部カラー印刷、日本語エスペラント対訳

著者： あけぼの会会員、堀泰雄

発行所： ホリゾン出版

電話・ファックス：027-253-2524

メール：horizon@water.sannet.ne.jp

定 価： 本体 500 円